



皆様、あけましておめでとうございます。日本のお正月をどのように過ごされたでしょうか？こちらブータンでは、1月1日は平日で、何も変わらないごくごく普通の日でした。本年もよろしくおねがいいたします。

平成25年11月～平成26年1月の出来事

● ブータンの国技 ●

日本では2020年東京オリンピックが決定したようですね。ブータンではどのようなスポーツがさかんなのでしょうか？



ブータンの国技は、すばり「**アーチェリー**」です。アーチェリーは基本的に男性の競技で、チーム対抗で試合を行い、選手からの的までは140mあります。的が大変小さく感じるほど遠いです。矢が見事にヒットすると、当てたチームは歌いながら勝利の踊りを踊り、腰に布をつけます。この布の色と数で得点を計算します。

女性にも人気の競技は、「**クル**」と呼ばれる、ダーツです。これもまた的は大変遠く、アーチェリーより随分小さく、チーム対抗で行います。クルが的に刺さると、選手全員でこれを称える歌とダンスをします。

これらのスポーツは、週末になると畑のそばや道路際の空き地でよく行われています。



● 人気のスポーツ ●



さて、このお坊さんたち、広いお寺の庭で何をしているのでしょうか？

十分な設備や物がそろわないブータンでは、ボールと広い土地さえあればできるこの競技が大変人気です。何かわかりましたか？そう、「サッカー」です。立派なゴールではなく、ゴールの方向が決まっているだけです。

バスケットボールやバレーボール、バドミントンといった手軽にできるスポーツも最近人気です。週末や、仕事の帰りなど、時間を見つけて楽しんでいるようです。

● 1月のブータン ●

1月というと、日本ではお正月、年始といった言葉が浮かびますが、学校にとっては長い長い冬休みの始まり。帰郷してくる子どもたちと共に、冬は暖かい南の県に引っ越す人も少なくありません。1か所定住型の日本人とは大きく異なる点の一つです。



私の任地であるプナカ県には、冬になるとヒマラヤの山中でヤクを放牧して生活しているラヤの人々が南下して移住してきます。ラヤの人々は、特徴的な竹製の帽子を被っており、市場で中国製の茶葉や、ヤクチーズを売っています。

ヤクは、ウシ科ウシ属の動物で、野生種は通常標高 4000m 以上の高地で生息しています。ブータンでは肉や乳、毛皮などを生活に利用しており、冬季にはおおよそ標高 3000m あたりまで降りてきます。ラヤの人々は、ヤクの移動に合わせて南下してくるのです。



乾燥していて日本ほどではありませんが、12月、1月は降雪の季節です。道路事情がよくないブータンでは、降雪の日は峠道の通行止めが相次ぎます。また、そのシーズンの初雪の日は、公的施設はお休みとなります。